

## 「首都圏土壤医の会」の案内情報

### 1. 会の名称

首都圏土壤医の会

### 2. 設立年月日

2017年4月1日

### 3. 会長

高山 晃（たかやまあきら）

### 4. 会長のプロフィール

農協全国組織に勤務後、98年に就農。花き栽培農家。2016年5月に土壤医の資格を取得。

### 5. 事務局

- 担当者：井田 憲治（事務局長）
- 住所：〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須109番地5
- 連絡先：Mail：info@首都圏土壤医の会.jp info@xn--u9j463gt0c8xekc81k662ncno.jp  
電話番号：090-8303-7781
- ホームページ URL： <https://首都圏土壤医の会.jp/wp>

### 6. 会員数 2024年8月現在

正会員：85名 準会員：21名

### 7. 会の特色

農業を含め、土づくりの必要なあらゆる現場を対象として活動をしています。また、全国のどこにお住まいの方でも会員になれます。（外国にお住まいの会員もおられます。）

規約での本会の目的

第3条本会は地域土壤医の会として土づくりに関する課題解決力を高めることによって地域の農業・農村、都市農業、市民農園、福祉農園、家庭菜園、都市公園、自然公園、ガーデン等土づくりを必要とするあらゆる現場の活性化に貢献することを目的とする。目的を達成するためには、土づくりに関するアドバイスや指導力の一層の強化を図る必要があり、具体的には

- ①会員相互の研鑽と交流を深める
- ②会員の情報ネットワーク等を通じ土づくりに関する課題解決力を高めることを実践する。

### 8. 2024年度 活動計画

別添 2024年度事業計画のとおり

---

## 9. 入会のお誘い

本会は、特定の専門分野のスペシャリストを含め、多様なご職業の方が参加されております。皆様もご参加いただき、交流を深めていきましょう。現地研修会は首都圏で行うこととなりますが、ZOOM を利用した活動を行っております。遠隔地の方もご参加大歓迎です。本会は、本会活動のために、活動費 2000 円を頂いております。会費は、IT 関係、外部講師謝礼などに使われています。

入会案内ページ : <https://xn--u9j463gt0c8xekc81k662ncno.jp/wp/form1>

# 第3号議案

## 2024年度事業計画（案）

（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

### 1. 首都圏土壤医の会をめぐる現状と活動方針

#### （1）首都圏土壤医の会を巡る現状

長らく続いたコロナ禍の影響から私たちの生活はようやく解放され、活発な日常生活が戻ってきました。コロナ禍を経て、私たちのコミュニケーションの仕方には多くの変化がありました。Zoomなどのオンラインプラットフォームを利用することで、リモートワーク、オンラインイベント、バーチャルミーティング、教育のデジタル化などが進み、今後も定着していくと思われまます。

私たち首都圏土壤医の会の活動も、Zoomをうまく利用することで活発化させることができました。これにより、会員数は約100名に達し、首都圏に留まらず全国各地の会員の参加を得ることができました。また、さまざまな職業、バックグラウンドを持つ人々が集まる会となりました。これは、新たな活動を生み出す可能性を広げるとともに、情報交換により、各個人の土づくりの課題を解決するのに大いに役立つ場ができたと考えられます。

しかし、土づくりの研鑽は現場での研修・実習が重要ですが、全国の会員が一堂に会して現地研修を実施することは難しいため、ライブ配信などIT技術を使った新たな取り組みが必要になっています。また、会員が約100名になったことで、事務作業が増大し、事務局の負担が大きくなっています。多くの会員が事業運営に参加できる仕組み作りが必要になっています。

#### （2）今年度の活動方針

昨年度が中期計画の最終年度であり、これに合わせて会員の満足度調査を実施しました。回収率は52%、満足しているとの回答（大いに満足している、おおむね満足しているの合計）は94%という結果となりました。また、年度末の会員数は98名と目標の100名には到達できませんでした。

回収率の点では目標を下回りましたが、会員から事業運営はおおむね満足されたものと判断します。

参考 中期計画の具体的目標

①会の満足度調査により、回収率60%以上、満足している80%以上を目指す。

②会員総数を 100 名以上とする。

また、合わせて会の事業運営に対するアンケートも実施し、様々なアイデアをいただきました。これらを検討し、会員の負託に応えるべく事業運営に取り組みます。

しかし、会員数 100 名規模の現在の体制では事務局にかなりの負担が生じており、事務局、相談役の増員による体制の強化、IT を活用した運営の効率化、会員に対する対応の標準化をすすめるとともに、最も事務作業の負担が大きい会費納入方法の変更を検討します。

## 2. 意思決定のシステム担当

### (1) 定例理事会

毎月実施している定期的な理事会は継続します。また、事務局の中でコミュニケーションツールを最大限活用し、理事会の効率化を図ります。

### (2) 会員との意見交換

総会や ZOOM 研修などのイベントに合わせて、会員から意見を聞く場を設けていきます。

## 3. 業務遂行体制担当

### (1) 特定の業務についての相談役の設置

本会の事業運営は理事、相談役が中心に行っておりますが、それぞれ本業を持っており、会員 100 名規模では理事、相談役の負担がさらに大きくなってきています。このため、会員の得意分野を把握し、業務範囲の狭い相談役として事業運営への参加を会員に向けて求めていきます。

### (2) 理事会の業務を事業単位に分割

今年度も理事会の業務を事業単位に分割し、それぞれの業務の担当者を決め、機動的な業務運営を行います。

### (3) 情報システムの確立

#### ① 会員コミュニケーションサイト活用の深化

2022 年度導入した会員コミュニケーションサイト Miitas のさらなる活用を通じ

て、事務局からの連絡や情報を的確かつ迅速に会員に提供していきます。

## ② 会員同士のコミュニケーションの場のさらなる活性化

2022年度に開設した閉鎖型フェイスブック「首都圏土壤医の会の井戸端会議」はフェイスブック利用者に限定されるため、これに加えて全会員向けにLINEグループやSlack、Discord等のコミュニケーションツールを導入を検討し、会員同士がさらに気軽に交流できるコミュニティを整えます。

## ③ ライブラリの充実

会員向けに土づくり等に関するライブラリを充実させ、さらに会員が欲しい情報に素早くアクセスできるような検索性の向上を図ります。

# 4. 広報活動の活発化

## (1) 内部広報

会員コミュニケーションサイト等を活用し、会の事業内容や会員にとって有意義な情報発信を活発化させます。

## (2) 外部広報

ホームページやフェイスブックへの投稿頻度を上げるため、投稿を継続できるような仕組みの検討を行います。この他、都市農地活用センターの専門家情報データベースへの登録を検討します。

# 5. 研修・研鑽事業

## (1) 研修体系

以下の研修を合わせて原則毎月開催することを目標とします。

### ① 現地研修会

会員の圃場を活用させていただき、(一財)日本土壤協会などから講師を派遣いただき、土壌分析とその処方箋作成などに関する研修会を実施します。

### ② 特別講演会

土づくりに関する学者等の著名人を招き、土づくりに関する様々な視点からの講演をいただきます。受講者は会員以外からも募り、原則参加費を徴収します。会員は無料とすることで会員以外との差別化を図り、本会への加入を促します。

開催は年2回を目指し、基本的にZoomで実施します。

### ③ Zoom 研修会

日ごろの土づくりに関する活動について、会員から報告を行って頂きます。1回の講演で2人から3人の講演を基本として、講師を引き受けやすい環境を作ります。

### ④ 土壌関係書籍読み合わせ会

選定した土壌関係書籍について、会員が分担して解説を行った後、参加者全員で質疑応答する形式の土壌関係書籍読み合わせ会を実施します。

### ⑤ その他

昨年度に引き続き、土づくり関係の新たな情報について、研究機関、行政、メーカー・商社等からの講演の検討や、土づくりをいろいろな視点から見るために、農業DXの動向や植物生態、動物との関連、地球温暖化防止、植物工場、水耕栽培等の講習会の開催についても検討します。

## (2) 研修会運営の効率化

運営方法を標準化することで、事務処理の効率化を図ります。

## (3) 研修内容をライブラリにて提供

研修参加を逃した会員に対して、研修内容をライブラリにて提供します。ライブラリ閲覧に対するCPDポイントの提供は、事務処理が煩雑になるため行いません。

## 6. 会員交流事業

リアルな会員交流会の開催について検討します。

また、会員同士が交流できるように自己紹介するページを作成し、会員同士が得意分野を共有しあうことで、会員交流を促進することを検討します。

本会のSNSとしてはフェイスブックがありますが、さらにラインやSlack、Discord等の導入を検討します。

## 7. 会員活躍推進事業

### (1) 会員活動の支援

研究部会活動の立ち上げやサークル活動の立ち上げの希望がある場合、会として立ち上げを支援します。また研究部会が立ち上がった場合、予算の付与等を検討します。

## (2) 会員活躍の場の開拓

本会に対する講師派遣依頼があった場合は、会員から講師を募集し会員の活躍の場を設けます。

都市農地活用センターの専門家情報データベースへ当会紹介の文書を投稿するとともに、首都圏土壤医の会講師派遣リストを見られるようにします。さらに、都市農地活用センターの人材派遣事業を活用した学校菜園への講師派遣など、従来にはない新たな会員の活躍の場を設けることを検討します。

## 8. 検定試験関連事業

### (1) 検定試験普及活動

検定試験のポスターやパンフレットの効果的な配布場所を検討した後、会員に配布協力を呼びかけます。

また、本会が行う検定試験講習会を積極的に外部へ広報し、検定試験の普及と講習会の参加者を増やしていきます。

### (2) オンライン検定試験講習会の企画・開催

今年度は3級に加えて2級も対外的に ZOOM を使ったオンライン講習会を開催します。

### (3) 対面式の検定試験講習会の企画・開催

#### ① 対面式の土壤医検定試験対策講習会

開催を検討します。

#### ② 対面式の模擬試験勉強会

開催を検討します。

### (4) ホームページでの受験情報提供の充実

受験者の利便性の観点から、土壤医検定試験対策のページは現在のホームページから独立させることを検討します。

2級の問題演習の改訂は早期に進め、3級の問題演習は検定試験対策講習会に合わせて作成します。

## (5) 検定試験会場設置

### ① 検定試験会場設置

埼玉県、群馬県その他、今年度は栃木県に検定試験会場を設置する予定です。また、首都圏内にさらに試験会場を設置することを検討します。

### ② 試験監督員の確保

新たな試験会場の設置に向け、試験監督員候補者を増やすことを検討します。

## 9. 賛助会員について

賛助頂ける企業等へのPR方法を含めて継続検討します。